



もう少し詳しく解説！

札幌市では、この「待機児童」を解消するため、平成23年度から26年度までの4年間で、保育所の定員を4800人増やすことを目標に取り組みを進めています。

さらに、平成27年4月1日には待機児童をゼロにすることを目指して、さまざまな取り組みを進めています！

保育園には工夫がいっぱい！

ハイハイ（ほふく前進）ができる「ほふく室」には、赤ちゃんが体を冷やさないように床暖房が整備されていたり、調理室はガラス越しに調理の様子が見られたりと、子どもたちが安心して楽しく過ごせる工夫がたくさんありました。



さらに、屋上には省エネを目的に太陽光発電パネルが設置されていて、保育園で使う電力の最大5分の1を補うことができるそうです。

工夫したところを質問すると、「雪が降る札幌では、太陽の光を受けて発電するために一番効率の良い角度だけではなく、雪が積もってしまわない角度も計算して設置しています」と話してくれました。

新琴似南保育園（新琴似2-6）

☎ 768-5050

今、保育園が必要なワケ



札幌市には、保育園に入りたくても入ることができない「待機児童」がたくさんいます。そのため、少しでも多くの人々が保育園を利用できるようにと、新琴似南保育園が新設されました。

「待機児童」ってどのくらいいるの？

平成25年4月1日現在の待機児童数は、札幌市全体で398人、北区では78人でした。1年前の平成24年4月1日（札幌市929人、北区198人）と比べると、待機児童数は確実に少なくなっています！



新琴似南保育園だけじゃない！

新琴似南保育園のほかにも新しく建てられた保育園や、改修工事によって定員が増えた保育園があり、さらに多くの人々が保育園を利用できるようになります。

新しく造られた施設、新琴似南保育園

平成26年4月1日、新琴似地区に定員90人の新しい私立保育園が誕生しました。どうして保育園を新しく造る必要があるのか、どんな工夫がされているのか・・・
工事の現場に潜入取材してきました！



編集後記

※学年は取材当時



たかはし そら
高橋希空

百合が原小／5年
広報の1ページを作るのに、取材や校正にたくさんの時間をかけているのを知り、それを実際に体験してみるとすごく大変でした。



やまと ひかる
大和 晃

新琴似南小／5年
カメラ撮影や取材が楽しかったです。編集作業が難しくて大変だったけど、がんばりました。



新光小／6年

工事現場に行ったり、取材したりと、初めてのことでとても楽しかったです。こういう記者体験をまたやってみたいです。



にしかわ みほる
西川美遼

道教育大附属札幌小／6年
工事現場に行き、実際に工事をしているところを見るのは初めてだったので、良い経験になりました。

